



アイディッシュ株式会社

老舗漆器店による新たな挑戦



漆器店が直面した危機と新たな挑戦

(株)下村漆器店は、鯖江市にて1900年に創業し、伝統の技法を受け継ぐとともに新しい技法を取り入れながら、業務用漆器・家庭用漆器全般を製造しています。

越前漆器の産地では、バブル崩壊後の不況に加え、生活様式や「食器」に対するニーズの変化による販売不振という課題を抱えていました。

そのような状況の中で、下村漆器店は、伝統技法を受け継ぐとともに、大学・研究機関と連携し、新素材・新商品開発にも積極的に取り組んできました。

特に2000年代以降は、顧客ターゲットと

して、病院・福祉施設等にも力を入れ、IH対応などの機能性を持った食器の開発を継続して注力しています。

そして2014年には、漆器店としての「ものづくり」を超え、食を起点とした「ことづくり」への挑戦を進めるため、新たに「アイディッシュ株式会社」を設立しました。



自動プログラムの調理システム「ディッシュクック」の開発

病院現場での調理工程の多さと、それに伴う人手やコスト負担を目の当たりにしたことから、アイディッシュ(株)では、新しい調理システムの開発に取り組みました。

関西電力との共同研究を経て、個食単位で加熱調理を可能とする機器(個別IHクッキングヒーター)を開発。この技術をもとに、プログラムによる自動調理を実現する独自のシステム「ディッシュクック」が誕生しました。2022年より受注を開始し、現在病院や福祉施設を中心に導入が広がり、導入した現場からは「厨房スタッフの手待ち時間が削減できる」、「栄養管理された豊富なメニューと、出来立て熱々の食事を提供できる」といった声が届いています。

さらに同社では、管理栄養士やSEなどの専門的な人材の雇用や、有名シェフ監修に

よる献立づくりにも力を入れ、利用者目線による、更なるサービス向上に努めています。

同社の「常に新たな技術を探求し、絶えず市場要求に応えようとする姿勢」が、「食器の販売だけでなく、システム販売という新たな販路開拓」に繋がった、素晴らしい取り組みではないでしょうか。

FIOおよび福井県では、同社の今後の事業展開をサポートしてまいります。



企業概要

所在地 鯖江市片山町8-7
設立 2014年10月
代表者 代表取締役社長 下村昭夫
事業内容 ディッシュクック開発、販売



同社サイト

FIO

ふくい NEW 経済ビジョン
Fukui NEW Economic Vision

Fukui Innovation Office